



2021年3月期 第1四半期決算

2020年8月3日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<https://www.nichidai.jp/>

1) 事業紹介

2) 21/3期 第1Q決算概要

3) 21/3期 計画

4) 配当について

1) 事業紹介 (参考ページ: <https://www.nichidai.jp/company/overview.html>)

ネットシェイプ事業

高精度な自動車部品をつくる「金型」をトータルサポート



高精度・省資源・高強度

アセンブリ事業

自動車の燃費向上・排ガス削減に役立つキーパーツを組立て



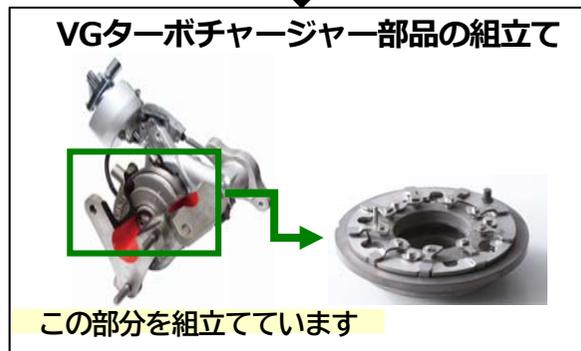
高品質・自動化・2極生産

フィルタ事業

過酷な条件で使える金属フィルターを様々な産業に提供



高強度・耐熱・耐酸性



航空宇宙

食品

医薬品



- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 第1Q決算概要**
- 3) 21/3期 計画
- 4) 配当について

決算ハイライト

業績

減収減益

■売上高	2,712百万円(前期比 33.0%減)	↓
■経常利益	△104百万円(前期261百万円の利益)	↓
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	△79百万円(前期175百万円の利益)	↓

背景

- 新型コロナウイルス感染拡大は、世界の自動車産業に影響を及ぼす。
- 自動車生産が著しく停滞し、ネットシェイプ事業・アッセンブリ事業の売上高が大幅に減少。
- フィルタ事業は好調を維持するも、カバーできず。

2) 21/3期 第1Q決算概要 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

科 目	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減率
売上高	4,046	2,712	△33.0%
売上総利益	835	365	△56.2%
販売管理費	580	520	△10.3%
営業利益	255	△154	-
営業外損益	△5	△50	-
経常利益	261	△104	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	175	△79	-

為替レート	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績
米ドル	110.45円	109.10円
タイバーツ	3.48円	3.49円

増減要因

■売上高の減少
自動車産業に関連が深い、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上高が大幅に減少。

■売上総利益
時間外労働抑制等によるコスト低減を実施。

■販売管理費
各種コスト抑制策を進める。

■営業外損益
⇒一時帰休実施による助成金収入
56百万円
⇒為替差損 11百万円
(前年は0.4百万円の益)

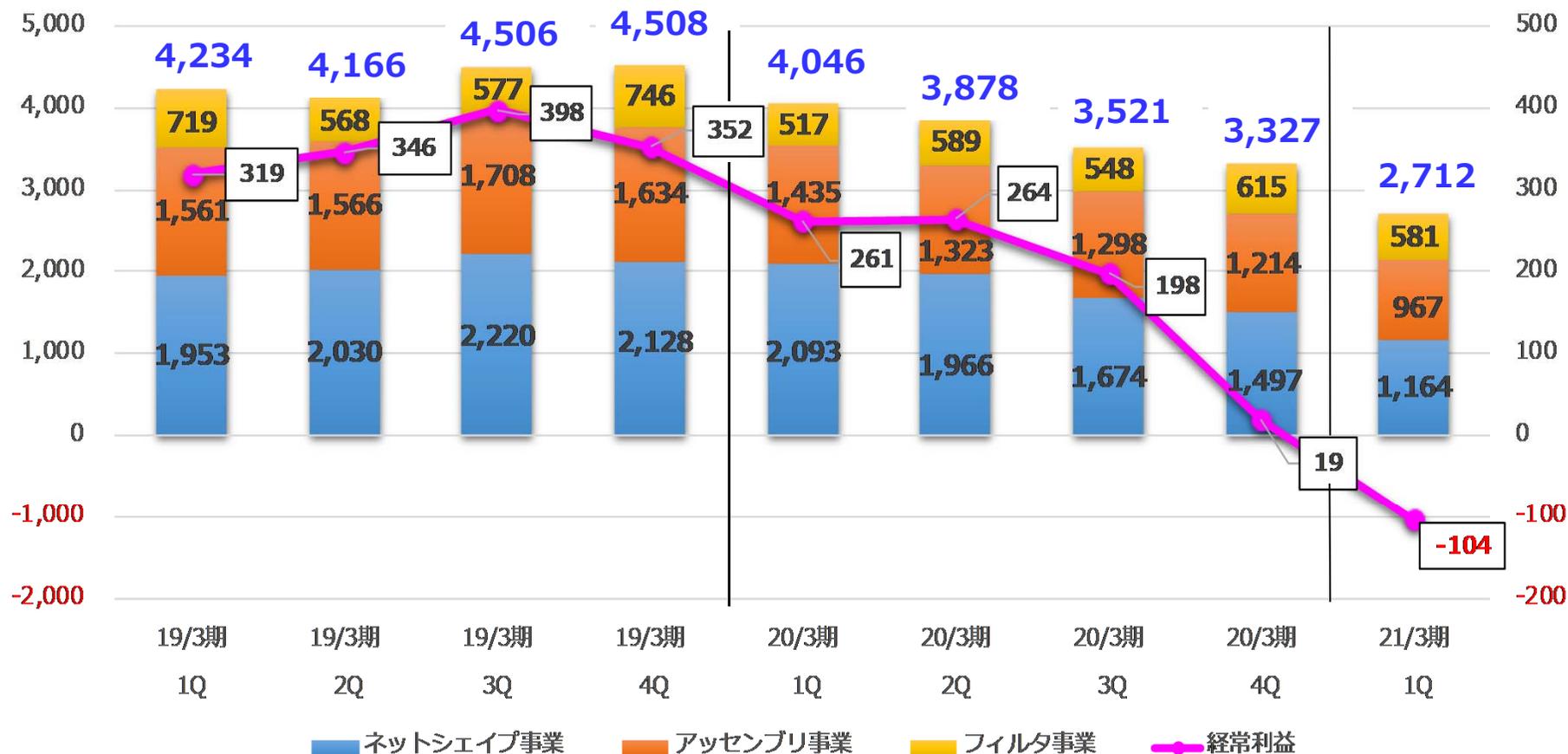
2) 21/3期 1Q決算概要

- 前年の下半期から、米中貿易摩擦による自動車産業の停滞の影響により売上高が減少。
- 今年度に入り、新型コロナウイルス感染拡大により、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上高が大幅に減少。

売上高(左軸)
棒グラフ
単位:百万円

事業別売上高・経常利益推移(四半期ベース)

経常利益(右軸)
折れ線グラフ
単位:百万円



2) 21/3期 1Q決算概要 - ネットシェイプ事業の推移-

【売上高増減要因】

米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自動車産業が停滞。国内外の金型部門、精密鍛造品部門ともに売上高が減少。

【経常利益増減要因】

コスト抑制策や助成金収入の影響はあるが、売上高減少により損失計上。

《国内外別売上高・経常利益推移》

	20/3 1Q実績	21/3 1Q実績	対前期 増減率
国内	1,434	761	△46.9%
海外	658	402	△38.9%
売上高計	2,093	1,164	△44.4%
経常利益 (経常利益率)	156	△139	—
	7.5%	△12.0%	—

《四半期別売上高推移》



* 百万円未満切り捨て。

【売上高増減要因】

ネットシェイプ事業同様、自動車産業の停滞が影響。
国内外のターボチャージャー部品の売上高が大幅に減少。

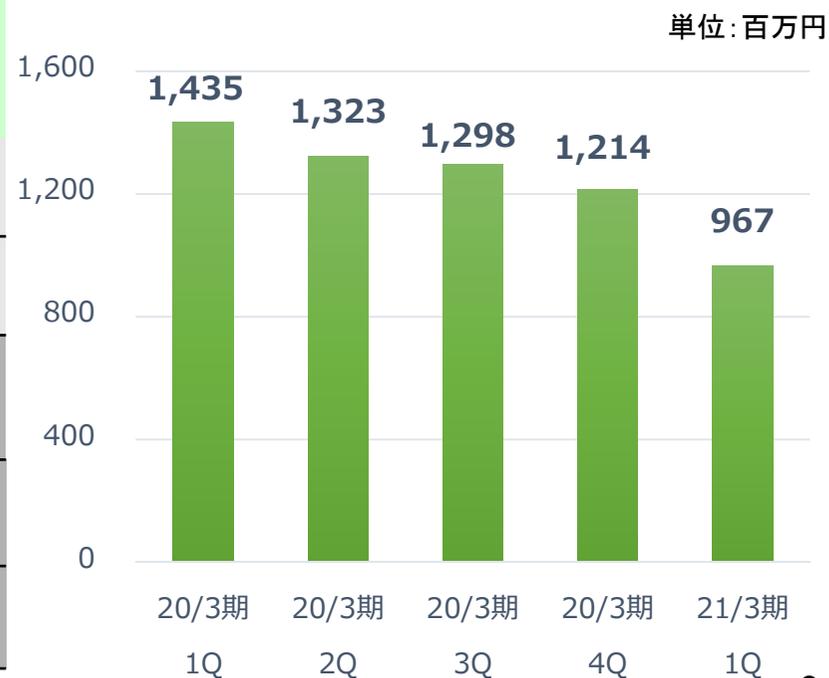
【経常利益増減要因】

売上高減少に伴い、損失計上となる。

《国内外別売上高・経常利益推移》

	20/3 1Q実績	21/3 1Q実績	対前期 増減率
国内	710	435	△38.7%
海外	725	532	△26.6%
売上高計	1,435	967	△32.6%
経常利益 (経常利益率)	47	△55	—
	3.3%	△5.8%	—

《四半期別売上高推移》



* 百万円未満切り捨て。

2) 21/3期 1Q決算概要 — フィルタ事業の推移 —

【売上高増減要因】

ユーザーが自動車産業以外であり、多様化していることから、売上高を確保。主力ユーザー向けが好調を維持。

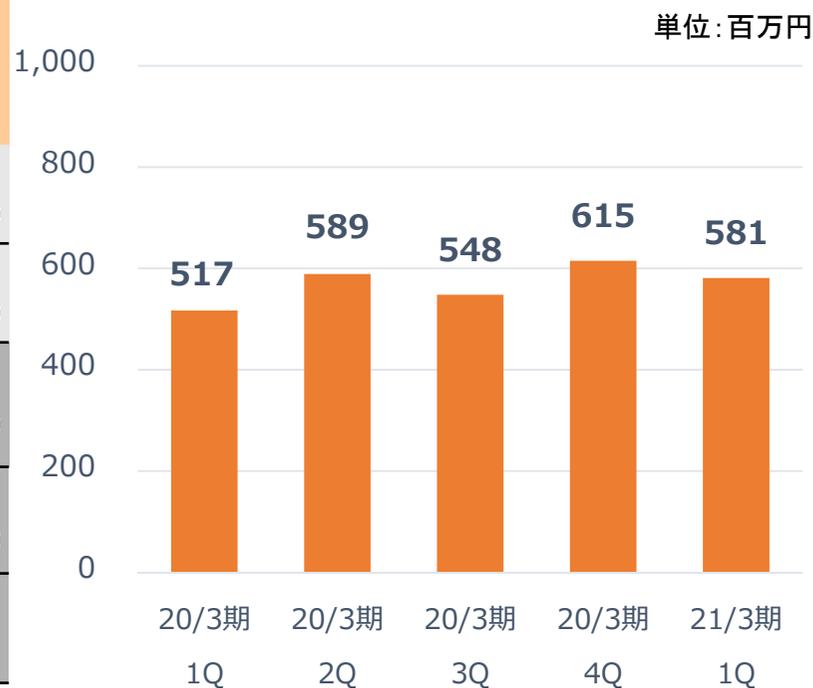
【経常利益増減要因】

増収効果に加え、製品構成の影響もあり、経常増益となる。

《国内外別売上高・経常利益推移》

	20/3 1Q実績	21/3 1Q実績	対前期 増減率
国内	375	425	13.6%
海外	142	155	9.1%
売上高計	517	581	12.3%
経常利益 (経常利益率)	57	90	59.1%
	11.1%	15.7%	—

《四半期別売上高推移》



* 百万円未満切り捨て。

連結貸借対照表

単位：百万円

20年3月期 4Q

流動資産 9,068	流動負債 3,007
	固定負債 776
固定資産 7,315	純資産 12,600

21年3月期 1Q

流動資産 8,809 (△258)	流動負債 3,034 (+26)
	固定負債 859(+83)
固定資産 7,162 (△153)	純資産 12,078 (△522)

* 百万円未満切り捨て。

()内の数値は、20/3との増減表記 + = 増加、△ = 減少

流動資産：受取手形及び売掛金(515百万円減)、売上記録債権(104百万円減)
→受注高減少により、売上債権が減少。

現金及び預金(313百万円増)

流動負債：買掛金(179百万円減)未払金(245百万円減)
借入金(327百万円増)賞与引当金(192百万円増)

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 第1Q決算概要
- 3) 21/3期 計画**
- 4) 配当について

2021年3月期第2四半期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、公表することといたしました。

なお、通期の業績予想につきましては、当社の主力顧客業界である自動車産業の動向が依然不透明であることから、未定としております。合理的な算定が可能になった時点で、公表いたします。

3) 21/3月期計画 -上半期売上高・利益見込み-

単位:百万円

	20年3月期 上半期 実績	21年3月期 上半期 計画	増減率
売上高	7,925	4,970	△37.3%
売上総利益	1,651	560	△66.1%
販売管理費	1,145	1,070	△6.5%
営業利益	505	△490	-
営業外損益	△20	△170	-
経常利益	526	△320	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	349	△240	-
為替レート	20年3月期 上半期 実績	21年3月期 上半期 計画	
米ドル	110.11円	108円	
タイバーツ	3.48円	3.4円	

増減要因

- 売上高の減少
第2四半期に関しても、自動車産業の停滞の影響による、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上高減少を見込む。
- 販売管理費の減少
各種コスト削減策を見込む。
- 営業外損益
第2四半期も、一時帰休による助成金収入を見込む。

- 1) 事業紹介
- 2) 21/3期 第1Q決算概要
- 3) 21/3期 通期見込み
- 4) 配当について

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

また、経営環境や業績動向、配当性向などの諸指標も考慮しながら配当額を決めております。

4) 配当について

- 主力顧客業界である自動車産業が依然先行き不透明な状況であることから、通期業績予想については未定としております。
- 経営環境、業績動向および通期業績予想を未定とさせていただいている現況などを総合的に勘案し、第2四半期末の配当を見送ることとし、期末配当については未定とさせていただきます。
- 通期の配当予想につきましては、通期業績予想が公表可能になった時点で公表いたします。

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	10.00	10.00	20.00
21年3月期 (予 想)	0.00	未 定	未 定

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp